

## ～海外交流研修報告書～

七飯中学校2年 高橋海月

私は、今回海外交流研修に参加して二度と出来ないような素晴らしい経験をすることができました。

出発する前は、ワクワク、ドキドキ。よりも、ソワソワ、不安の方が気持ちのほとんどを占めていました。でも、このようなめったにできない経験ができるのだと思うと緊張も楽しみに変わりました。

函館空港に着いてみると、緊張は見事に消え去っていました。飛行機に乗り込み、いよいよコンコードへ向けて出発。私の胸はすごく高鳴っていました。ボストン空港までは、十三時間もあったけど何事もなく無事に向かうことができました。着いてから少々ハプニングもあったけど、大事にいたることなく到着。空港からは、スクールバスに乗って CCHS に向かいました。スクールバスに乗り込むともものすごいスピードで走り始め、みんなの髪の毛が爆発しはじめました（笑）。窓をのぞくと、もうすっかり外国という感じでした。自分が外国にいるなんて夢のようでした。CCHS に着くと、たくさんの方が私達をむかえてくれました。私の訪問先の方は、部活があったらしくお母さんが来てくれていました。ホームステイ先の家は、とてもきれいで広い大きな家でした。家族の方も、とてもやさしく初日からとてもよく接してくれました。お父さんのエリック・お母さんのティム・お姉さんのエマ、そしてクライヤーの四人家族でした。みんな、私にたくさん話しかけてくれてとても嬉しかったです。英語を話せないのが不安だったけど、パソコンの翻訳機能などを使ってくれるのでとてもスムーズに会話をすることができました。言葉で伝えられない時は、ジェスチャーなどで頑張って伝えました。言葉は通じなくても、コミュニケーションをとることでこんなにも人と人の距離は近づくものなのだと、すごく実感しました。

二日目は、授業を一緒に受けてまわりました。次の授業に行くたびに、いろんな人が声をかけてくれました。アメリカの方は、とてもフレンドリーでやさしくて、すてきな人ばかりでした。アメリカの学校は、驚くほど自由な学校でした。私服 OK。授業中の飲食 OK。授業中の立ち歩き、入退室 OK。などと、日本ではありえないような事ばかりでした。



コンコードのアイス  
クリーム屋さんで！！

三日目は、CCHSのTVとラジオ出演をしました。TV出演では、日本とアメリカの学校の違いなどを話しました。他にいた生徒さんもたくさんしゃべっていました。何をしゃべっているかさっぱりわからなかったけど、ベンが通訳してくれるおかげでほとんど意味はわかりました。ラジオ出演では、日本で聞いている親へ向けてメッセージを送りました。私は、とても楽しんでいたので帰りたくないとお親へ向けて言いました（笑）。この日の夜は、派遣者のみなでアメリカンフットボールの試合を見に行きました。人生初のアメフト観戦でした。アメフトは、さすがアメリカのスポーツ。とても迫力があり、すごく盛り上がりました。スポーツは、国関係なく楽しく盛り上がるものなのだと、とても強く感じました。



アメフト観戦！！

四日目は、ありさ・さき先輩のホームステイ先の家族とみのりのホームステイ先の家族とみんなでショッピングに行きました。たくさんお土産などを買いまくりました。夜は、CCHSのカフェテリアで交流パーティーがありました。いか踊りなど、日本の文化も取り入れおおいに盛り上がることができました。交流パーティーの後には、ありさ・さき先輩達のホームステイ先の家でスパ&プールに入ってきました。プールは、時期ハズレだったけどみちかちゃんとおふざけて飛び込んでいるうちに、慣れてしまいました。私達、二人を見ていろいろな人が笑っていました。ちょっと恥ずかしいけど、みんなが楽しんでくれたなら、よかったです。（笑）

五日目。この日、夜におばあちゃんが家に来ました。おばあちゃんも、とてもやさしくておばあちゃんの話がたくさんしてくれました。おばあちゃんは、九時ごろになると帰ってしまいました。でも、その後は家族みんなで卓球をやったりドラムをやったり団らんの時間を過ごしました。

六日目は、ホームステイ最後の日。この日は、派遣者みんなで観光&ショッピングをしました。ハーバード大学・クインシーマーケット・コストコの3ヶ所に行きました。どこも初めて行く場所だったので、とても楽しむことができました。

七日目、お別れの日。ついに来てしまった別れの日。私は、この日が来ることをとても心の中で嫌がっていました。せつかく、打ちとけてきてこれからとても楽しくなりそうなのにお別れなんて…。私は、号泣してしまいました。六～七日間もお世話になって、とてもとてもいい経験ができました。お

姉さんのエマやクライヤーが、たくさんハグをしてくれました。エマの目にも涙が流れていました。私は、何度も何度もありがとうと伝えました。

私は、海外派遣に行つて本当にとってもよかったと思います。最初は、不安だらけで何をどうしたらいいかもわからなかったけど、現地の方々はとても心が広くて、やさしくていつも私を助けてくれました。家にいても、慣れない日本の文化にふれようとしてくれたりしていました。人と人は、言葉や国の壁があっても、“分かり合いたい”と思ひそれをかたちにすれば壁なんか簡単になくなって分かり合えるものだと思います。この考えは、この研修があったから言えることです。この経験をバネにして、しっかりとこれからの自分を生かしていきたいと思ひます。本当に、ありがとうございました。



家族みんなと！！